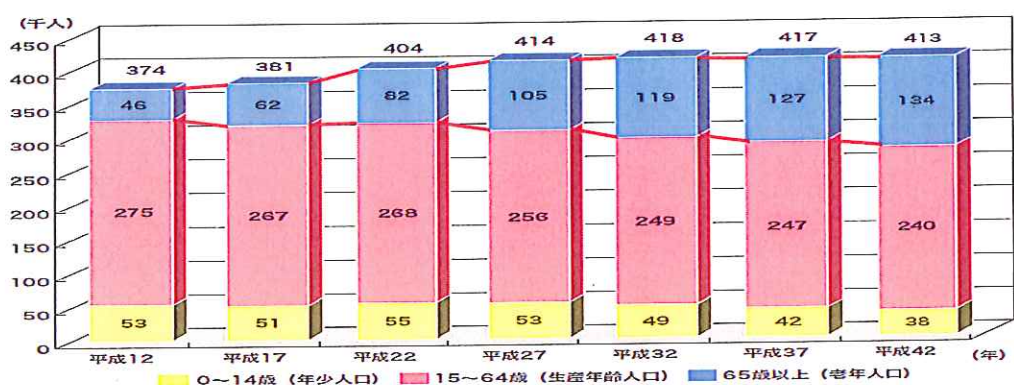


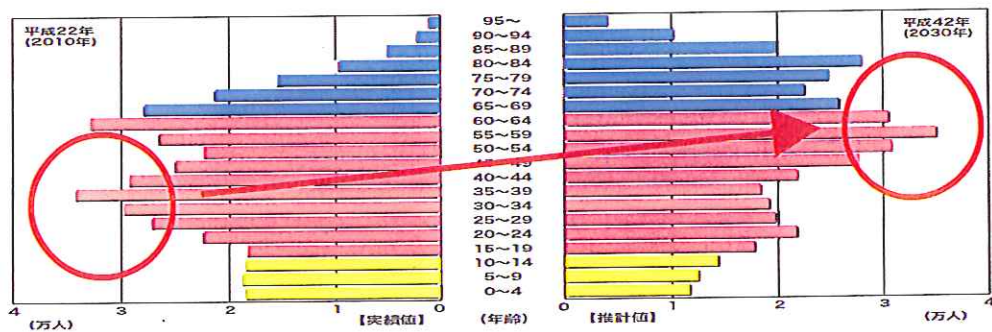
～柏市の地域医療の現状と課題～

■ 1 柏市の大きな政策課題

(1) 柏市の現在とこれから～人口構造から見る～



- ・ 向こう 10 年間は人口自体は微増。10 年後から減少基調に入る。
- ・ ～15 歳，生産年齢層は 22 年度以降微減基調へ。



- ・ 高齢者は着実に増加の一途→ピラミッドの頂点が移行。

【いずれも柏市第四次総合計後期基本計画より抜粋】

(2) この構造から見える柏市全体の政策の方向

【四次総で掲げた課題】

- ・ 出生率の向上と流入人口の促進
- ・ 福祉，医療環境の充実
- ・ …

⇒医療はその課題にどう対応するか？

■ 2. 柏市の医療資源の現状と課題

(1) 医療資源の現況

● 病院

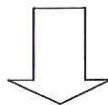
病院名	病床数				提供体制		千葉県医療連携計画(0233)における位置づけ									
	総数	一般	療養	精神科	DPC	入院基本料(一般)	がん	急性期	回復期	急性期	回復期	専門外来	救急医療	災害医療	母産科	小児科
1 市立柏病院	200	200				7割1	○	○	○	○		専門外来	2次	協力		○
2 国立がん研究センター東病院	425	425			DPC	7割1	全県拠点 腫瘍ケア									○
3 辻村病院柏の葉	198	198				10割1	○									
4 千葉・柏たなか病院	166	166				10割1	○	○				専門外来	2次	協力		○
5 松澤生協会病院	278	278			DPC	7割1	○	○				専門外来	2次	協力		○
6 東京慈恵会医科大学附属柏病院	624	624			DPC	7割1	がん拠点 腫瘍ケア	○	○	○		専門外来	3次	地域 拠点	母産科 NI連携	○
7 深町病院	73	47	26			15割1							2次	協力		
8 聖峰会岡田病院	162	95	67			13割1	○						2次	協力		○
9 磐石堂病院	40	40				10割1									分娩 施設	
10 おおたかの森病院	199	199			DPC	10割1	○	○	○	○	○		2次	協力		○
11 千葉・柏リハビリテーション病院	436	147	169	120		13割1		○				専門外来	2次	協力		○
12 名戸ヶ谷病院	247	247				10割1	○	○	○	○			2次	協力		○
13 柏光陽病院	199	111	88			10割1		○								
14 柏南病院	25		25			—										
15 初石病院	868			868		—		○								
16 北柏リハビリ総合病院	217	81	36	100		13割1										
17 宇賀野病院	240			240		—										

【ちば医療ナビ、千葉県保健医療計画より作成】

● 診療所（標榜科目別）

診療科目	内科	循環器科	呼吸器科	消化器・ 胃腸科	脳神経外 科	整形外科 形成外科	泌尿器科	小児科	婦人科 産婦人科	精神科 心療内科	神経科 神経内科	耳鼻咽喉 科	眼科	皮膚科
標榜診療所 数	126	24	13	35	6	33	10	69	16	12	5	15	19	44

【ちば医療ナビより作成】



● 柏市の医療施設数、病床数、稼働率

	病院数		一般診療所数			病院病床数			一般 診療所 病床数
	精神科病院 (再掲)	一般病院 (再掲)		有床診療所 (再掲)		精神科病床 (再掲)	療養病床 (再掲)	一般病床 (再掲)	
17	2	15	235	12	4517	1328	468	2721	139

【厚生労働省発行；平成22年度医療施設調査及び病院報告統計より作成】

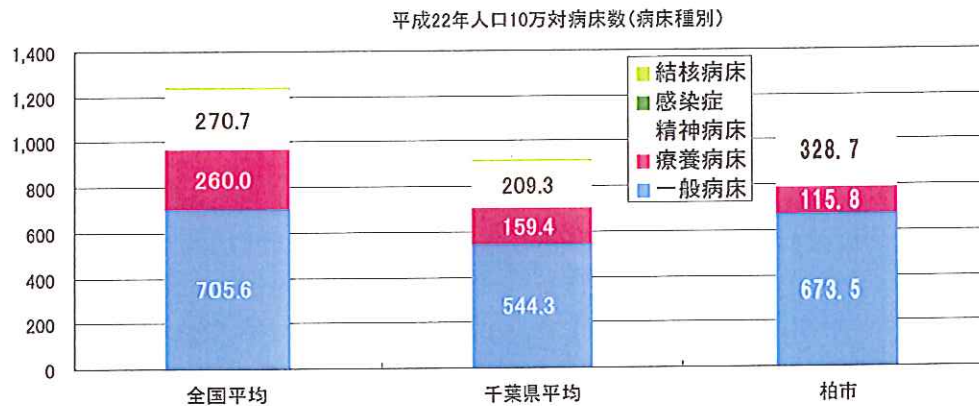
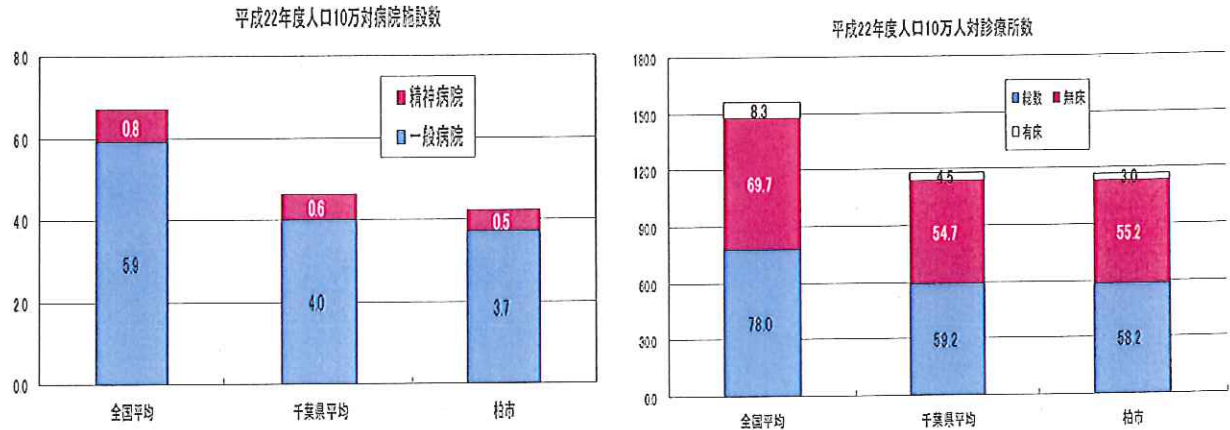
● 柏市の病床稼働率と平均在院日数

	病床稼働率				平均在院日数		
	精神科病床 (再掲)	療養病床 (再掲)	一般病床 (再掲)		精神科病床 (再掲)	療養病床 (再掲)	一般病床 (再掲)
87.2	94.7	89.8	83.1	28.4	568.9	410.6	16.7

【厚生労働省発行；平成22年度医療施設調査及び病院報告統計より作成】

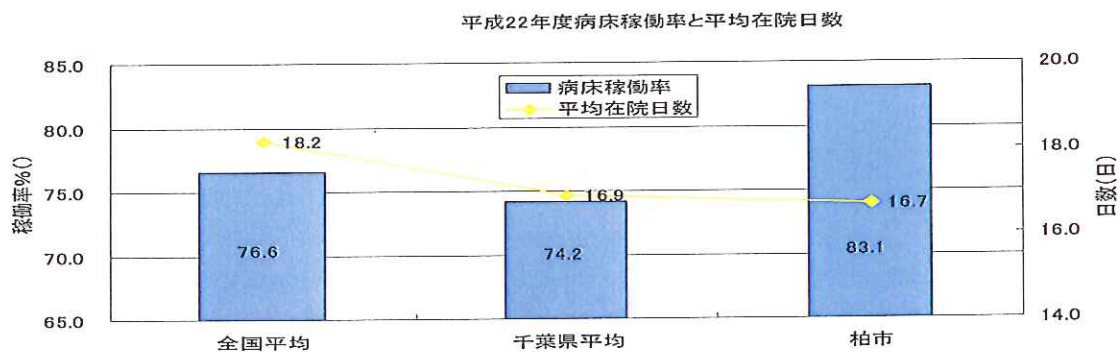
資料2 柏市の地域医療の現状と課題

●人口 10 万人あたりの比較



【いずれも厚生労働省発行；平成22年度医療施設調査及び病院報告統計より作成】

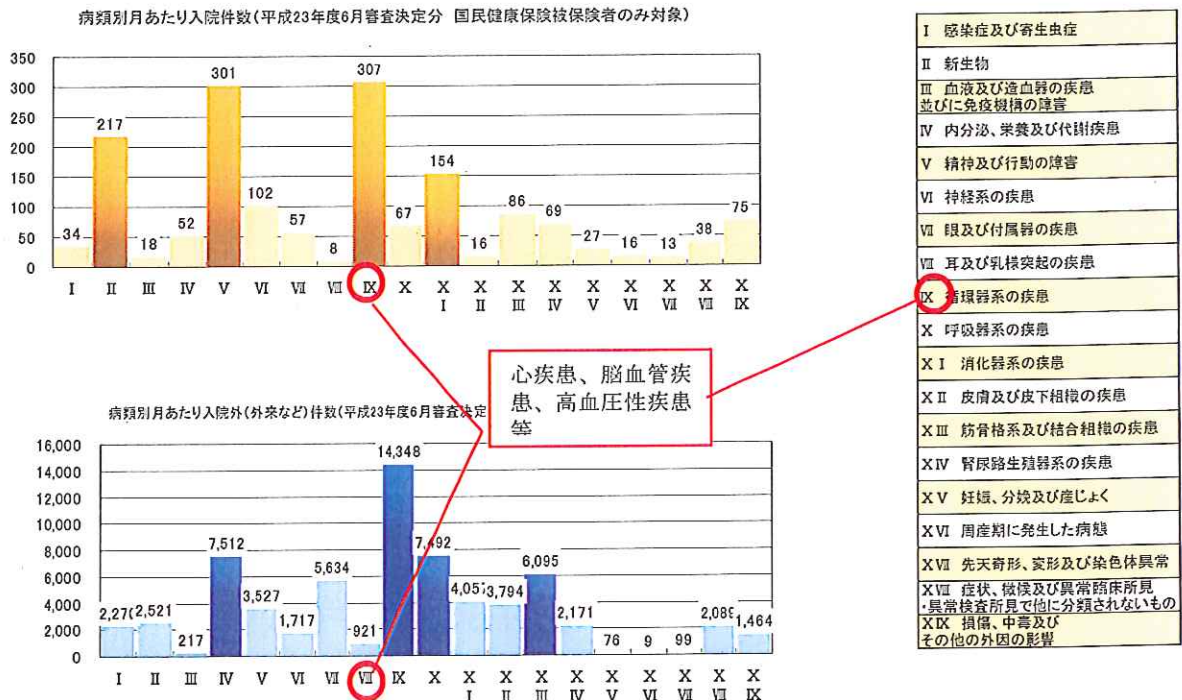
●病床稼働率と平均在院日数の比較



【いずれも厚生労働省発行；平成22年度医療施設調査及び病院報告統計より作成】

《診療所数は千葉県平均とほぼ同じ。病床数は、千葉県平均よりも上。しかし、稼働率は全国平均をも上回り、且つ平均在院日数は、全国平均、千葉県平均よりも短い。》

(2) 疾病構造から着目する柏市の医療ニーズ



【千葉県健康福祉部保健指導課発行；平成23年度国民健康保険疾病別疾患統計表より作成】

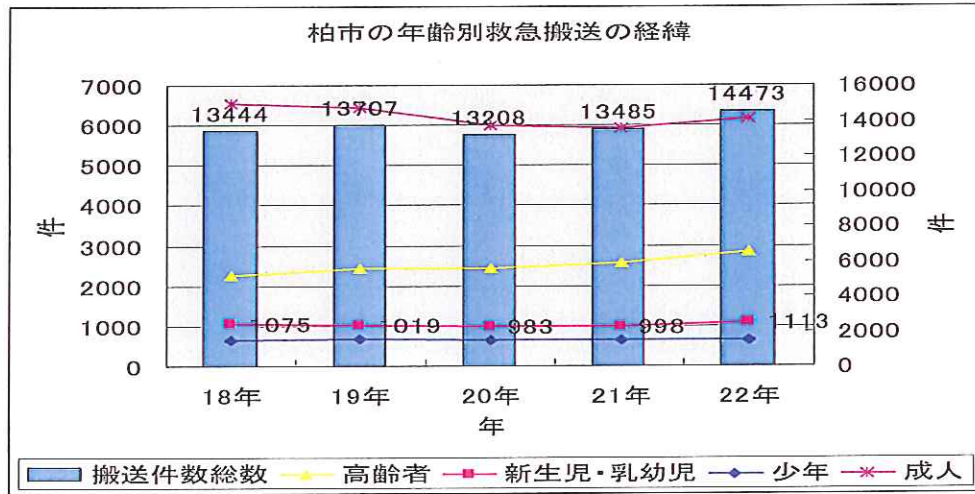
「外来，入院で共通して多いのは循環器系の疾病。入院だけで見るとその次が，がん，精神。外来で見ると糖尿病系，次が呼吸器が多い。」

⇒疾病構造的に，救急対応が特に求められる医療，が必要な構造となっている。」

※ただし，国保データなので，その加入構造は高齢者が中心であることに留意する必要がある。

(3) 救急の実態

●救急搬送数の経緯



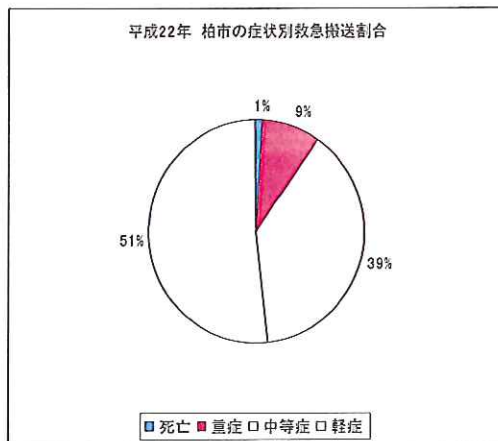
【柏市消防局発行;平成23年度柏市消防年報より作成】

※搬送件数総数は水色棒グラフ。単位は右軸。年齢別は折れ線グラフで単位は左軸。

《総数は上昇傾向。主に上昇している年齢層は高齢者。》

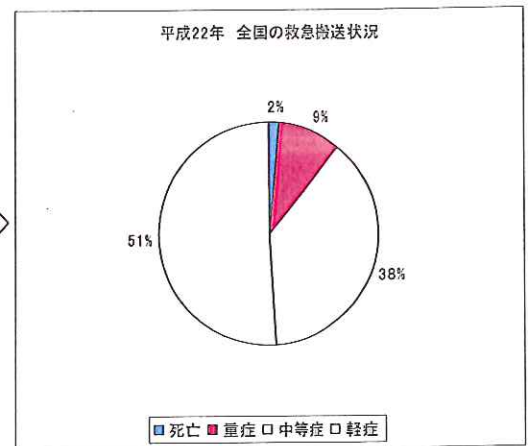
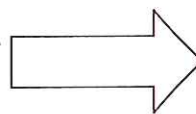
《小児（新生児・乳幼児）は年間約1,000件でほぼ横ばい状態。》

●症状程度別の割合（22年実績）



【柏市消防局発行;平成23年度柏市消防年報より作成】

全国では…

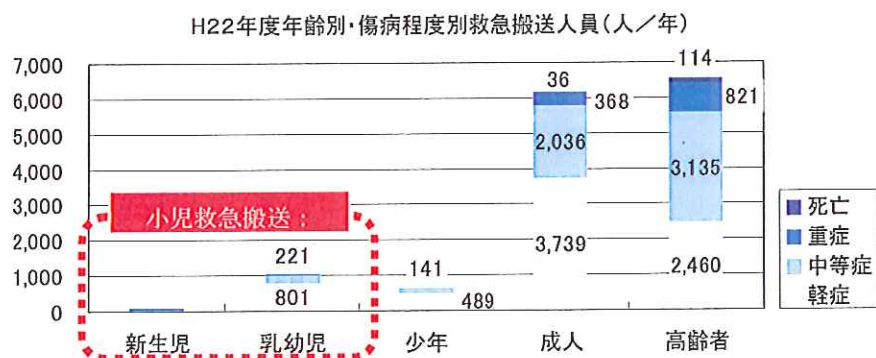


【総務所発行;平成22年度消防年報より作成】

《半数は軽症であり、軽症と中等症の合計でほぼ90%である。》

《柏市と全国との比較は全くといっていいほど、同じ割合であり、柏市の利用状況が突出しているとは言えない。ただしこれはあくまで比較上だけの問題。》

●年齢別症状別の数



【柏市消防局発行;平成23年度柏市消防年報より作成】

※この他に、一次診療（夜間急病診療所）の利用が 3,349 人ある（但し15歳以下でカウント。）。

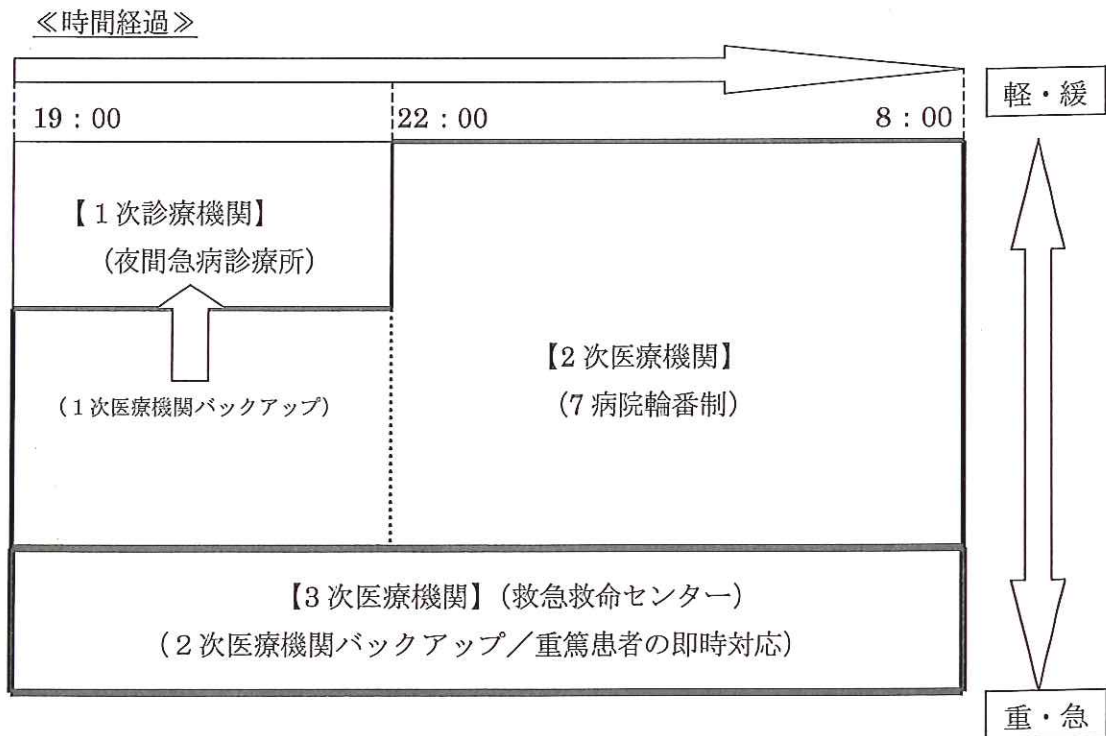


では、受入サイドとしての柏市の救急医療の体制はどうなっているのか？

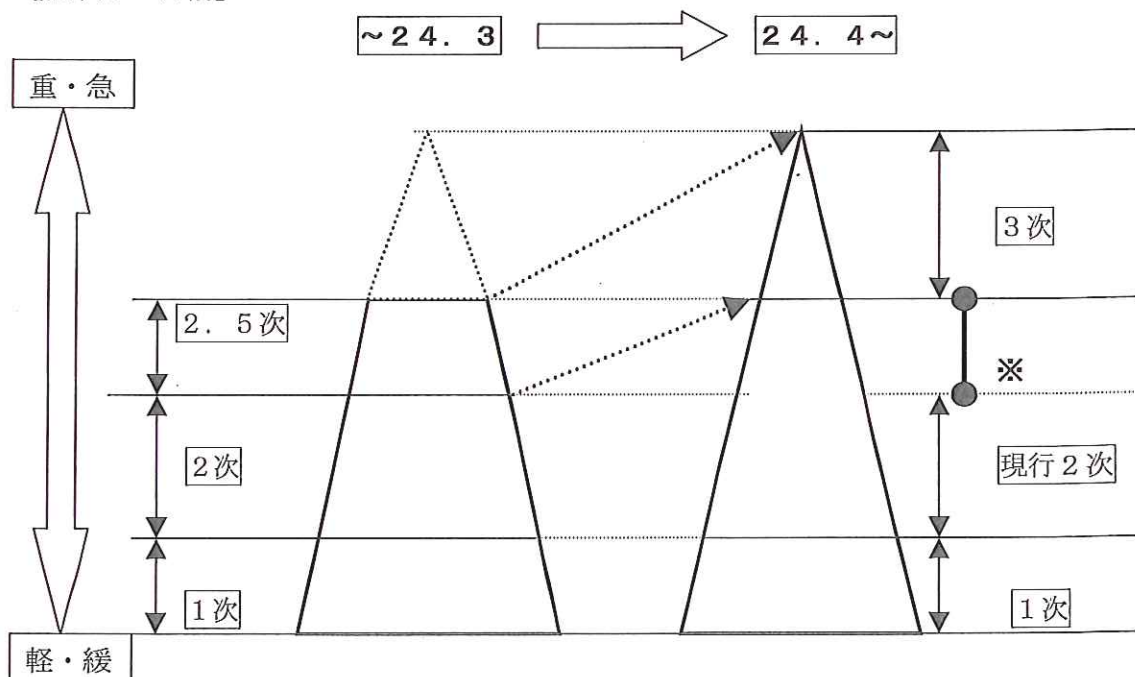
(4) 受ける側の柏市救急医療の実情

● 柏市の救急医療体制

【時間別】



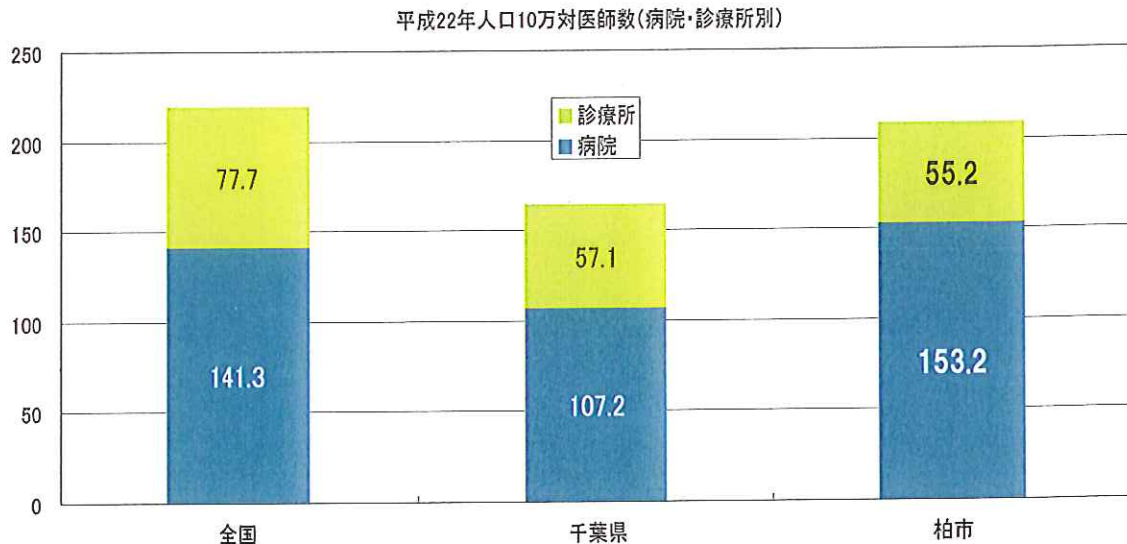
【症状レベル別】



《※ここのギャップをどうしていくのかが、大きな課題。》

(5) 医療で最も肝心な医師数などを見る柏市の医療

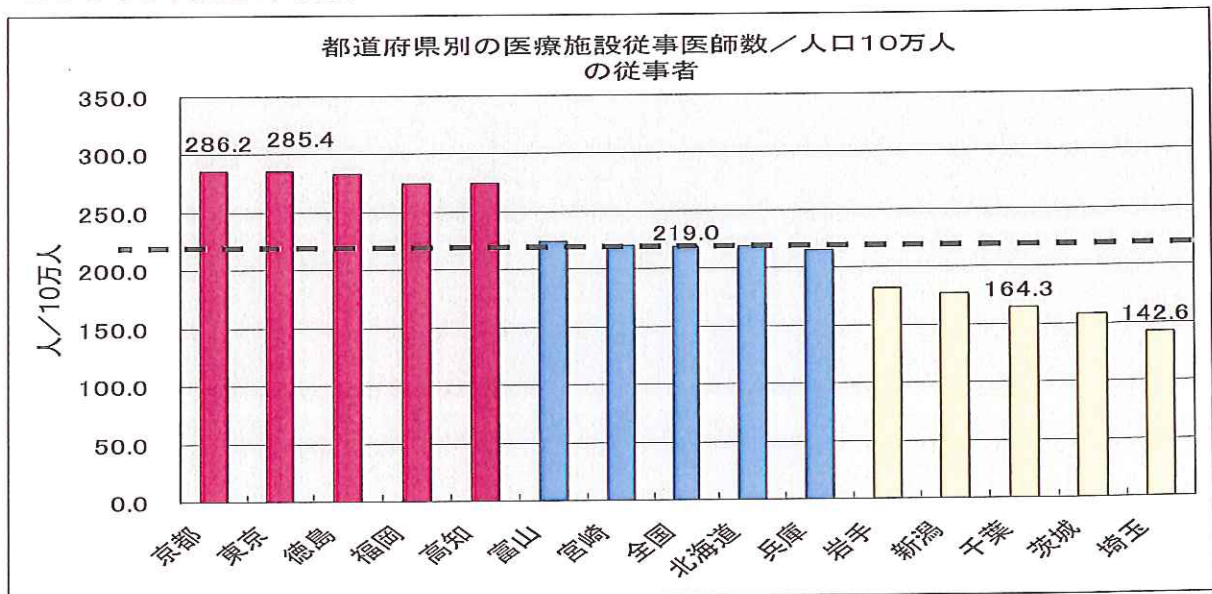
●医師数



【平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省発行)より作成】

《医師数総数では千葉県平均を上回るが、全国平均以下。柏市の中では、病院勤務医師は多く、千葉県平均を上回るものの、診療所医師数は逆に千葉県平均を下回る。》

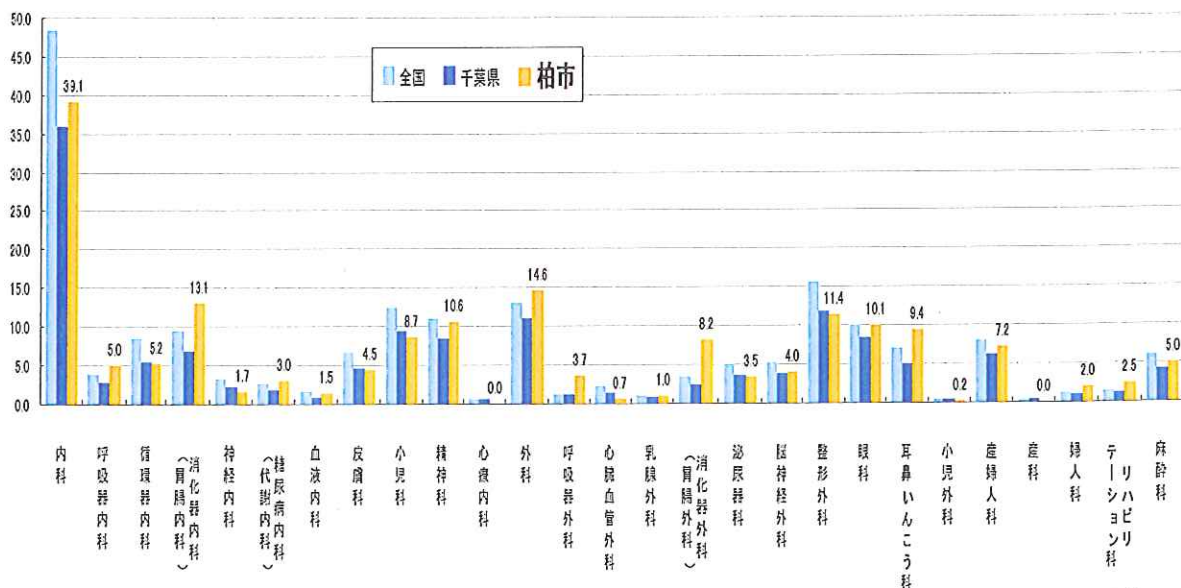
●そもそも千葉県の医師数のレベルは？



【平成22年医師・医師会・薬剤師調査(厚生労働省)より作成】

《千葉県は全国45位。1位の京都府と100人以上、全国平均と50人以上の開きがある》

●これらを主な診療科目別でみると…



【平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省）より作成】

※千葉県平均が全国平均を上回る診療科目は皆無。

※千葉県＜全国＜柏市…

呼吸器内科、消化器内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、眼科、耳鼻咽喉科、婦人科、放射線科

※千葉県＜柏市＜全国…

肝臓内科、糖尿病内科、血液内科、精神科、脳神経外科、産婦人科、

※柏市＜千葉県＜全国

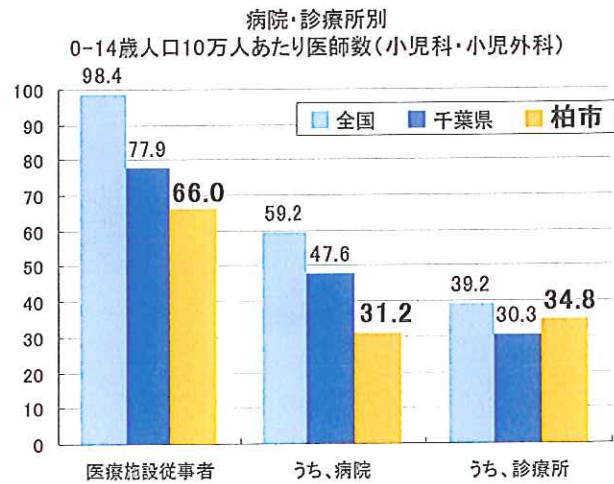
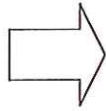
循環器内科、神経内科、小児科、整形外科、小児外科

≪『全国＜千葉県』の診療科目は皆無。だから、『千葉県＜柏市』でもそのレベルは、全国的に見ると楽観視はできない。ましてや、『千葉県＞柏市』となると、相当困難な状況と考えたほうがいいと思われる。≫

●対象が特定できる小児科，産婦人科をさらに詳細に見てみると…

○小児科

単純な人口10万人を
分母とするのではなく，0－
14歳人口10万人を分母とし
てみると，

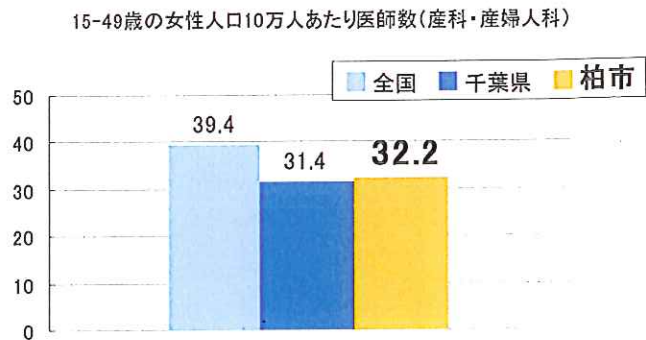
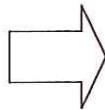


【平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査、平成22年国勢調査より作成】

《特に病院勤務医が圧倒的に少ない⇒そもそも現状では小児救急が困難な証し。》

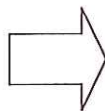
○産婦人科

単純な人口10万人を分母と
するのではなく，15－49歳の女性
人口10万人を分母としてみる
と，



【平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査、平成22年国勢調査より作成】

しかし，産婦人科は分娩施設が
不可欠。その状況は…



分娩取り扱い施設

	施設数	15-49歳の女性人口10万人あたりの施設数
千葉県	134	10.1
柏市	4	4.4

【ちば医療ナビ(平成24年6月1日現在)、平成22年国勢調査より作成】

《産科・産婦人科医師数は県平均よりやや多いが，分娩取扱施設数は少ない。》

■ 3. 柏市の地域医療の課題

【柏市の地域医療の課題①（医師数から見た医療体制全般）】

●診療所数は、千葉県平均とほぼ同じ。しかし、同じ比較で診療所医師数は千葉県平均より少ない。

⇒1人あたりの医師の負担が重くなっている。

●病床数は、千葉県平均よりも多いが、病床稼働率は千葉県平均はおろか、全国平均をも上回る高さ。その上、平均在院日数は千葉県平均、全国平均よりも短い。

⇒キャパシティとしては、比較的逼迫しつつある状況にある。

●医師数は、病院勤務医に限ると、千葉県平均よりも多い。しかし、診療科目別に見た場合、かなりのバラツキがある。

⇒千葉県平均が全国平均を上回っている診療科目は一つもない。しかも千葉県自体の医師数は、人口規模に比べて不足している状況。

⇒千葉県平均以上であっても、必ずしも安定／充足している数とは言い切れない。

⇒ましてや、千葉県平均よりも柏市が医師数で下回っている診療科目は、明らかに数が足りていないといえ、深刻な状況と捉えられる。

→循環器内科、神経内科、小児科、整形外科、小児外科

【柏市の地域医療の課題②】（より正確な対象者数を分母で捉えるた場合で見ると…）

●病院における小児科医数は実際の必要度と比較した場合、著しく不足している。柏市では病院勤務医数が、千葉県平均より多く、診療所医師数が少ないのに、小児科医に限ってはこれが逆転している。

⇒病院勤務の小児科医の確保が第一義的な課題。

●産婦人科（産科）は、医師数が足りない以上に、分娩施設自体が足りない。

⇒こと産科に関しては、分娩施設と（医師の確保を）セットで考える必要がある。

【柏市の地域医療の課題③】（救急医療の課題）

●搬送の約90%は軽症、中等症で、重症患者は10%に過ぎない。

⇒但しこの10%こそは、即応性、高度専門性、集中治療設備を備えた医療が必要。…①

●慈恵医大柏病院が救急三次病院に移行。

⇒同病院は即応、高度専門を旨とする医療機関であり、重症患者の即応体制がとれる上他にしておくことが重要。…②

※救急の実態や、①、②から三次病院が有効に機能するという観点から見れば、二次病院が如何に堰き止めを果たせるかがポイントなる。

●より本質的な問題は、救急車、救急医療の適性利用にある。

【補足；中核市間で比較をしてみるとどうなるか。】

●病院に勤務する医師数

順位	中核市名	人口10 万対医師数
1	久留米市(30万人)	448.7
2	盛岡市(29万人)	287.6
3	前橋市(34万人)	283.3
...	...	...
22	郡山市(33万人)	162.1
23	柏市(40万人)	153.2
—	全国平均	141.3
...	...	...
40	岡崎市(38万人)	62.0

●診療所における医師数

順位	中核市名	人口10 万対医師数
1	長崎市(44万人)	139.7
2	和歌山市(38万人)	123.4
3	前橋市(34万人)	118.4
...	...	...
30	長野市(38万人)	77.8
—	全国平均	77.7
31	いわき市(35万人)	77.7
...	...	...
37	川越市(34万人)	55.2
37	柏市(40万人)	55.2
...	...	...
40	豊田市(41万人)	47.5

◎小児科(主たる診療科)

順位	中核市名	人口10 万対医師数
1	久留米市(30万人)	41.0
2	前橋市(34万人)	25.9
3	大津市(33万人)	23.7
...	...	...
26	松山市(51万人)	12.6
—	全国平均	12.4
27	豊橋市(37万人)	11.4
...	...	...
35	横須賀市(42万人)	9.3
37	柏市(40万人)	8.7
...	...	...
40	船橋市(60万人)	8.0

◎産科・産婦人科(主たる診療科)

順位	中核市名	人口10 万対医師数
1	前橋市(34万人)	18.2
2	高槻市(36万人)	17.4
3	岐阜市(41万人)	16.4
...	...	...
25	姫路市(53万人)	8.4
—	全国平均	8.3
26	郡山市(33万人)	8.3
...	...	...
31	宇都宮市(51万人)	7.2
31	柏市(40万人)	7.2
...	...	...
40	横須賀市(42万人)	4.3

【平成 22 年医師・医師会・薬剤師調査（厚生労働省）より作成】

《中核市間で比較をしても、小児科医数に関しては、診療所医師に関してのみ県平均を上回っても、全体としては中核市の中では下位に属する。》

《産婦人科医に関しては、県平均を上回っても、中核市で比較すると平均以下（というより下位）であり、県平均を超えているから充足している、というのがいかに水準が低い事なのか、を示す端的に示していると言える。》